

平成 29 年 2 月 1 日

小児科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「乳児重症アトピー性皮膚炎の治療介入時期と食物抗原感作についての後方視的検討」への協力のお願い

小児科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんのデータを用いた臨床研究を行います。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表しません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究目的**：乳児アトピー性皮膚炎の早期治療が食物アレルギーの発症を抑えることができるかを後方視的に検討する。

**研究内容**：皮膚の湿疹が食物アレルギーの感作（IgE 抗体が作られるようになること）や発症に影響をしている可能性が指摘されています。そこで、当院を受診した乳児重症アトピー性皮膚炎患者様で、生後 5 ヶ月未満に治療を始めた方、5 ヶ月以降に治療を始めた方などで分け、それぞれ生後 6 か月時、1 歳 6 か月時の採血結果などカルテ情報を持ちいて、食物アレルギーに対する感作の状況、食物アレルギーの発症などに対する影響を検討します。

**対象**：2011 年 1 月～2015 年 6 月に当科において、乳児重症アトピー性皮膚炎のため受診され、軟膏での治療を受けられた方

### 研究への参加辞退をご希望の場合

この研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において既に管理している患者さんのデータを使用させていただきます。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

### 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

この研究に関して不明な点がある場合は、以下にご連絡ください。

### 連絡先

岐阜大学医学部附属病院 小児科

電話番号 058-230-6386

研究責任者：川本 典生